

令和6年度 諫早市立上諫早小学校 第2回学校評価アンケート〔保護者〕結果集計表

領域	No.	評価内容	4	3	2	1	無回答	総計	平均値	備考
やさしく	1	子どもは、気持ちの良いあいさつや返事が進んで実践できている。	10	24	11	0	0	45	2.98	△
	2	学校は、いじめ問題の未然防止と早期発見・早期解決に適切に取り組んでいる。	16	18	5	2	4	45	3.17	
	3	学校は、道徳授業等を通して、思いやりのある心や「豊かな人間性」の育成に努めている。	20	20	2	0	3	45	3.43	○
	4	学校は、学校での集団生活を通して、基本的な生活習慣が身に付くよう指導・実践を続けている。	21	23	0	0	1	45	3.48	○
	5	家庭は、家庭や地域での生活を通して、基本的な生活習慣が身に付くよう指導・実践を続けている。	12	31	1	0	1	45	3.25	○
かしこく	6	子どもは、学校生活の中で、自分なりの「楽しみ」や「喜び」を見つけ出している。	24	19	1	0	1	45	3.52	◎
	7	学校は、「基礎学力を身に付ける学習指導」の工夫・実践に努めている。	21	19	2	0	3	45	3.45	○
	8	学校は、児童の特性に応じた個別指導など、学習支援の工夫・実践に努めている。	16	21	2	0	6	45	3.36	○
	9	家庭は、子どもの家庭学習の習慣と基礎学力が定着するよう指導・支援を続けている。	8	34	2	0	1	45	3.14	
	10	家庭は、子どもの学習準備に留意し、実態に応じて「忘れ物」がないように指導・支援に努めている。	13	29	3	0	0	45	3.22	
たくましく	11	子どもは、外遊びや運動を通して、基本的な運動技能を身に付け、体力・運動能力を向上できるよう努めている。	20	23	2	0	0	45	3.40	○
	12	学校は、交通安全など、子どもたちの安全確保について適切な指導や対応に丁寧に取り組んでいる。	25	17	1	0	2	45	3.56	◎
	13	学校は、給食時間の指導を通して、望ましい食習慣や作法が、正しく身に付くよう努めている。	16	21	0	0	8	45	3.43	○
	14	家庭は、早寝早起き朝ご飯など、規則正しい生活習慣が身に付くよう努めている。	18	24	3	0	0	45	3.33	○
	15	家庭は、様々な「メディア」の利用について、家庭での約束・ルールを決め、望ましい習慣を定着させるための指導・実践を続けている。	11	22	10	2	0	45	2.93	△
学校運営・地域連携	16	学校は、各種便り・安心メール・ホームページなどを活用して情報発信に努めている。	31	13	0	1	0	45	3.64	◎
	17	学校は、子どもたちに対して、「丁寧な言葉遣い」や「適切な話し方」で、指導にあたっている。	20	17	3	0	5	45	3.43	○
	18	学校は、来校した保護者に対し、礼儀正しく応対し、節度ある温かな態度で接している。	33	11	0	0	1	45	3.75	☆
	19	学校は、保護者の相談に速やかに応じ、必要に応じて連絡を取り合い、子どもの教育のために「よりよい協働・連携体制」を築くよう努めている。	22	20	3	0	0	45	3.42	○
	20	学校は、校内美化や施設管理、花いっぱい運動など、教育環境づくりに進んで取り組んでいる。	27	14	1	1	2	45	3.56	◎

実施期間	令和6年12月20日(金)～12月25日(水)	評定平均値が3.75以上	☆
提出率(%)	77.6	評定平均値が3.50以上	◎
世帯数	58	評定平均値が3.25以上	○
提出世帯数	45	評定平均値が3.00以下	△

領域	No.	評価内容	4	3	2	1	無回答	総計	平均値	備考
やさしく	1	子どもは、気持ちの良いあいさつや返事が進んで実践できている。	7	5	1	0	0	13	3.46	○
	2	学校は、いじめ問題の未然防止と早期発見・早期解決に適切に取り組んでいる。	5	7	0	0	1	13	3.42	○
	3	学校は、道徳授業等を通して、思いやりのある心や「豊かな人間性」の育成に努めている。	6	6	0	0	1	13	3.50	◎
	4	学校は、学校での集団生活を通して、基本的な生活習慣が身に付くよう指導・実践を続けている。	6	5	0	0	2	13	3.55	◎
	5	家庭は、家庭や地域での生活を通して、基本的な生活習慣が身に付くよう指導・実践を続けている。	2	6	1	0	4	13	3.11	
かしこく	6	子どもは、学校生活の中で、自分なりの「楽しみ」や「喜び」を見つけ出している。	8	2	0	0	3	13	3.80	✿
	7	学校は、「基礎学力を身に付ける学習指導」の工夫・実践に努めている。	6	4	0	0	3	13	3.60	◎
	8	学校は、児童の特性に応じた個別指導など、学習支援の工夫・実践に努めている。	2	8	0	0	3	13	3.20	
	9	家庭は、子どもの家庭学習の習慣と基礎学力が定着するよう指導・支援を続けている。	2	5	1	0	5	13	3.13	
	10	家庭は、子どもの学習準備に留意し、実態に応じて「忘れ物」がないように指導・支援に努めている。	3	4	0	0	6	13	3.43	○
たくましく	11	子どもは、外遊びや運動を通して、基本的な運動技能を身に付け、体力・運動能力を向上できるよう努めている。	4	6	1	0	2	13	3.27	○
	12	学校は、交通安全など、子どもたちの安全確保について適切な指導や対応に丁寧に取り組んでいる。	9	3	0	0	1	13	3.75	✿
	13	学校は、給食時間の指導を通して、望ましい食習慣や作法が、正しく身に付くよう努めている。	6	4	0	0	3	13	3.60	◎
	14	家庭は、早寝早起き朝ご飯など、規則正しい生活習慣が身に付くよう努めている。	1	5	3	0	4	13	2.78	△
	15	家庭は、様々な「メディア」の利用について、家庭での約束・ルールを決め、望ましい習慣を定着させるための指導・実践を続けている。	1	5	2	0	5	13	2.88	△
学校運営・地域連携	16	学校は、各種便利・安心メール・ホームページなどを活用して情報発信に努めている。	10	3	0	0	0	13	3.77	✿
	17	学校は、子どもたちに対して、「丁寧な言葉遣い」や「適切な話し方」で、指導にあたっている。	8	2	2	0	1	13	3.50	◎
	18	学校は、来校した保護者に対し、礼儀正しく対応し、節度ある温かな態度で接している。	12	1	0	0	0	13	3.92	✿
	19	学校は、保護者の相談に速やかに応じ、必要に応じて連絡を取り合い、子どもの教育のために「よりよい協働・連携体制」を築くよう努めている。	5	5	0	0	3	13	3.50	◎
	20	学校は、校内美化や施設管理、花いっぱい運動など、教育環境づくりに進んで取り組んでいる。	6	5	1	0	1	13	3.42	○
実施期間	令和6年12月20日(金)～12月25日(水)		評定平均値が3.75以上							✿
提出率(%)	61.9		評定平均値が3.50以上							◎
学校関係者数	21		評定平均値が3.25以上							○
回答者数	13		評定平均値が3.00以下							△

実施期間	令和6年12月20日(金)～12月25日(水)	評定平均値が3.75以上	✿
提出率(%)	61.9	評定平均値が3.50以上	◎
学校関係者数	21	評定平均値が3.25以上	○
回答者数	13	評定平均値が3.00以下	△

令和6年度 諫早市立上諫早小学校 第2回学校評価アンケート〔教職員〕結果集計表

領域	No.	評価内容	4	3	2	1	△	総計	平均値	備考
やさしく	1	子どもは、気持ちの良いあいさつや返事が進んで実践できている。	0	11	6	1	1	19	2.56	△
	2	学校は、いじめ問題の未然防止と早期発見・早期解決に適切に取り組んでいる。	9	7	1	1	1	19	3.33	○
	3	学校は、道徳授業等を通して、思いやりのある心や「豊かな人間性」の育成に努めている。	8	9	2	0	0	19	3.32	○
	4	学校は、学校での集団生活を通して、基本的な生活習慣が身に付くよう指導・実践を続けている。	9	9	1	0	0	19	3.42	○
	5	家庭は、家庭や地域での生活を通して、基本的な生活習慣が身に付くよう指導・実践を続けている。	1	11	4	0	3	19	2.81	△
かしこく	6	子どもは、学校生活の中で、自分なりの「楽しみ」や「喜び」を見つけ出している。	5	9	2	1	2	19	3.06	
	7	学校は、「基礎学力を身に付ける学習指導」の工夫・実践に努めている。	10	6	1	0	2	19	3.53	◎
	8	学校は、児童の特性に応じた個別指導など、学習支援の工夫・実践に努めている。	9	6	2	0	2	19	3.41	○
	9	家庭は、子どもの家庭学習の習慣と基礎学力が定着するよう指導・支援を続けている。	1	11	1	1	5	19	2.86	△
	10	家庭は、子どもの学習準備に留意し、実態に応じて「忘れ物」がないように指導・支援に努めている。	2	10	2	0	5	19	3.00	△
たくましく	11	子どもは、外遊びや運動を通して、基本的な運動技能を身に付け、体力・運動能力を向上できるよう努めている。	7	8	2	0	2	19	3.29	○
	12	学校は、交通安全など、子どもたちの安全確保について適切な指導や対応に丁寧に取り組んでいる。	11	8	0	0	0	19	3.58	◎
	13	学校は、給食時間の指導を通して、望ましい食習慣や作法が、正しく身に付くよう努めている。	9	9	0	0	1	19	3.50	◎
	14	家庭は、早寝早起き朝ご飯など、規則正しい生活習慣が身に付くよう努めている。	2	9	2	1	5	19	2.86	△
	15	家庭は、様々な「メディア」の利用について、家庭での約束・ルールを決め、望ましい習慣を定着させるための指導・実践を続けている。	2	8	4	0	5	19	2.86	△
学校運営・地域連携	16	学校は、各種便り・安心メール・ホームページなどを活用して情報発信に努めている。	14	5	0	0	0	19	3.74	◎
	17	学校は、子どもたちに対して、「丁寧な言葉遣い」や「適切な話し方」で、指導にあたっている。	7	12	0	0	0	19	3.37	○
	18	学校は、来校した保護者に対し、礼儀正しく応対し、節度ある温かな態度で接している。	13	5	0	0	1	19	3.72	◎
	19	学校は、保護者の相談に速やかに応じ、必要に応じて連絡を取り合い、子どもの教育のために「よりよい協働・連携体制」を築くよう努めている。	13	5	0	0	1	19	3.72	◎
	20	学校は、校内美化や施設管理、花いっぱい運動など、教育環境づくりに進んで取り組んでいる。	10	7	2	0	0	19	3.42	○

実施期間	令和6年12月20日(金)～12月25日(水)	評定平均値が3.75以上	✳
提出率(%)	90.5	評定平均値が3.50以上	◎
職員数	21	評定平均値が3.25以上	○
回答数	19	評定平均値が3.00以下	△

領域	No.	評価内容	4	3	2	1	無回答	総計	平均値	備考
やさしく	1	私は、気持ちのよいあいさつや返事をすることができている。	13	11	11	0	0	35	3.06	
	2	私は、友達が嫌がることをしたり、言ったりしていない。	5	21	5	4	0	35	2.77	△
	3	私は、友達に「大丈夫?」「ありがとう」などの優しい声かけをして接している。	14	16	4	1	0	35	3.23	
	4	私は、そうじをがんばったり、トイレのスリッパをきちんと並べたりしている。	15	17	3	0	0	35	3.34	○
	5	私は、係や当番の仕事は、責任をもってきちんと取り組んでいる。	18	11	5	1	0	35	3.31	○
かしこく	6	私は、学校生活の中で、自分なりの「楽しみ」や「喜び」を見つけ出している。	17	13	4	1	0	35	3.31	○
	7	私は、文字を丁寧に書いたり、図書室の本をたくさん読んだりしている。	11	11	10	3	0	35	2.86	△
	8	私は、友達や先生に尋ねたり、友だちと協力したりして、勉強を進めている。	12	12	11	0	0	35	3.03	
	9	私は、家庭学習の取組を続け、宿題をきちんと提出している。	16	12	6	1	0	35	3.23	
	10	私は、忘れ物をしないように、気を付けて学習準備をしている。	12	15	7	1	0	35	3.09	
たくましく	11	私は、学校のルールや交通安全のきまりを守り、安全に生活している。	21	11	2	1	0	35	3.49	○
	12	私は、外で元気よく遊んだり、進んで体育科の学習に取り組んだりしている。	20	10	3	2	0	35	3.37	○
	13	私は、給食時間、好き嫌いをしないで食事をする事ができている。	8	18	9	0	0	35	2.97	△
	14	私は、「早ね・早起き・朝ごはん」の正しい生活ができている。	14	12	6	3	0	35	3.06	
	15	私は、テレビやスマホ、ゲームをするとき、家庭の約束やルールを守っている。	16	11	7	1	0	35	3.20	
先生とともに	16	先生たちは、だれにでも同じように声をかけたり、優しくしてくれたりしている。	22	4	8	1	0	35	3.34	○
	17	先生たちは、よいことやがんばっていることをほめてくれる。	25	5	4	1	0	35	3.54	◎
	18	先生たちは、悪いことをきちんとしかってくれる。	24	6	3	2	0	35	3.49	○
	19	先生たちは、私たちが困っているときや相談に対して、ていねいに対応してくれる。	20	10	3	2	0	35	3.37	○
	20	私は、将来の夢や希望をもっている。	17	10	4	4	0	35	3.14	
実施期間	令和6年12月20日(金)～12月24日(火)		評定平均値が3.75以上							☆
提出率(%)	83.3		評定平均値が3.50以上							◎
児童数	42		評定平均値が3.25以上							○
回答児童数	35		評定平均値が3.00以下							△

実施期間	令和6年12月20日(金)～12月24日(火)	評定平均値が3.75以上	🌟
提出率(%)	83.3	評定平均値が3.50以上	👁
児童数	42	評定平均値が3.25以上	◯
回答児童数	35	評定平均値が3.00以下	△

考察

(1) 保護者・教職員・児童アンケート結果から

	成 果	課 題
やさしく	○小規模の学校の特性でもある「異学年交流の深まり」が強いので、上級生の下級生に対する思いやりの心がとても温かい。学級としての集団活動も学校全体としての縦割り活動も、それぞれの子どもたちが充実感を味わいながら学校生活を送っている成果と捉える。	○学校支援会議第2回定例会校長講話や職員室前掲示物「あ(あかるく)い(いつも)さ(さきに)つ(つづけて)」をとおして、児童の意識向上を図っているが、なかなか浸透しない。地域性が原因(学校関係者意見)と諦めず、教職員自らが挨拶をする風土を作り、挨拶習慣を推進したい。
かしこく	○児童自らが楽しみや喜びを味わいながら学校生活を送っているとの保護者及び学校関係者評価の高まりに教職員のモチベーションも向上する。 ○学力向上に向けて、全職員で校内研修における学びを日頃の授業で生かすとともに個別指導の充実が図られた成果と捉える。	○タブレット端末の活用により、学びの深まりを目指しているが、授業においても家庭学習においても試行錯誤の日々が続いている。基礎学力の定着を図る日々の学習を継続することで、長期的視野をもちながら粘り強く指導するとともに、家庭との連携を図りながら家庭学習の充実に努めていきたい。
たくましく	○現在、日本の小学校教育が世界に注目されている。その一つが食育。本校においても、市の栄養教諭からの給食指導の充実や日々の学級における食習慣の指導の充実の成果と捉える。 ○毎朝、登校坂入口で交通指導員による立哨により、安全な横断歩行を児童自ら身に付けてきたと捉える。	○教育界でも ICT 機器を用いた学びの充実が求められるが、使用方法における指導の充実と児童の実行力を身に付けることはなかなか比例しない。今後も県警のサイバーセキュリティ事業を毎年実施するとともに、家庭教育の充実を図る「メディア講習会」「メディアコントロール習慣」等、粘り強く実施していく。
学校運営・地域連携	○全職員が「学校の顔」として、保護者や来校者への対応を実践している成果と捉える。 ○昨年度から再開したふれあい交流会では、児童と地域の方との充実した時間を過ごすことで、児童自身が地域の方からいつも見守られて生活していることを実感する貴重な時間となった。来年度も継続した取組として位置付けたい。	○授業参観・学級懇談会実施日に「放課後子ども教室」を開催している。約1時間の見守り活動の時間として、児童にとっては地域の方とふれあう貴重な時間として位置付けている。来年度は、更に地域の方がいつでも来校していただくことができるようなシステムづくり(物理的・時間的)を図っていきたい。

(2) 学校関係者評価から

① 基本的生活習慣の育成について

- ・昨年度、登校時の見守り活動中、児童に挨拶すると、児童の挨拶の声が小さかったり、挨拶を返さなかったりする子どもが複数名いたように感じたが、最近は児童の元気な挨拶が返ってくるようになった。児童自身から挨拶する子も増えた。
- ・コロナ禍で他人との接触を控える対応のしかたが残っているのか、大きな声を出すという意識が児童も大人も(教職員も)少なからずあるように感じる。
- ・横断歩道を渡り終えた歩行者(児童・大人)が、運転手にお辞儀をする場面を見かける。運転手としてもとても気持ちがいい。歩行者優先ではあるが、児童のお辞儀をするこの文化はこの地域のよき伝統として残していきたい。

② 不登校(傾向)に係る諸問題について

- ・幼児でも昼夜逆転している家庭も存在し、その対応に苦慮している。保育園では、9時までに登園するよう保護者に呼び掛けて、規則正しい生活習慣を促している。保育園では、夜間の仕事に出かける保護者も複数名在籍していて、子どもの生活習慣の育成が難しい。
- ・中学校では、フリースクールやオンライン授業など、学びの場が学校ではなくても出席扱いになることで、不登校傾向の子どもと学校とのつながりを構築している。

③ メディアコントロール改善について

- ・メディアコントロールは、親自身の問題でもある。メディア依存の保護者も多い。自分の子どもを指導できない親も多い。メディアから離れ、親子のコミュニケーションの時間を確保してほしい。

(3) 課題に対する改善策及び取組状況

① 基本的生活習慣の育成について

- ・児童は「見知らぬ方」と思うと挨拶をしてくれないと感じる。朝の見守り活動を継続することで、顔見知りとなり、挨拶を自分からも進んでしてくれるようになる。今後も継続していきたい。
- ・子どもは昼間に思い切り遊んだり、運動を楽しんだりすることで体内時計が正常化し、十分な睡眠につながると考える。

② 不登校(傾向)に係る諸問題について

- ・保育園でも中学校でも、「保育園・学校に行きたくない」という子どもへの対応には、保護者の協働体制が必須である。小学校においても、今後も保護者と連携を深めながら信頼関係の構築と不登校問題に取り組む。

③ メディアコントロール改善について

- ・最近のメディア(ゲーム)は受動的なものが多い。ただ見続ける、見続けなければいけない理由が子どもには存在する。見続けることで思考力の低下に陥り、集中力も大幅に低下する。

メディア全てが悪とは言わないが、AI機能に操られる人間ではなく、けじめを付け、人間らしく自分の意志を明確にしながら「夢」を抱く子どもの育成に、今後も地域・保護者・学校が一体となって取り組む。

(4) 令和7年度 重点取組事項

① 家庭との連携によるメディアコントロールの充実

② 児童の「授業が楽しい」の思いを育む授業改善と家庭との協働的な家庭学習の充実

③ 自分から進んで明るい挨拶を交わす気持ちのよい学校づくり